

都あて

日本共産党目黒区議団

東京都シルバーパスの更なる負担軽減を求める意見書（案）

誰もが自由に移動し、社会に参加することは、人間らしく生きるための基本的な権利である。

東京都シルバーパス制度は、高齢者の外出を支える重要な福祉制度として長年にわたり大きな役割を果たしてきた。東京都は利用者負担を年間 20,510 円から 12,000 円へ引き下げた。しかし、依然として負担は重く、多くの高齢者から「もっと気軽に利用できる制度にしてほしい」との声が寄せられている。

また 12000 円に引き下げられたことをきっかけとし、自治体独自の財源でシルバーパス利用者に補助を上乗せし、1000 円または 2000 円で購入できる支援が始まっている。荒川区では 2025 年秋からシルバーパス利用者は 1000 円で購入できるように支援、墨田区、葛飾区、港区、江戸川区でも今年度から 1000 円で購入できるようになったが、自治体間で格差が生まれている。

シルバーパスは単なる交通施策ではなく、高齢者福祉を支える重要な社会保障制度として位置付けられるべきである。

よって目黒区議会は東京都に対し、交通権・移動権の実現と高齢者福祉の充実のため、シルバーパスの更なる負担軽減を強く要望する。

以上、地方自治法第 99 条の規定により提出する。

2026 年 6 月 日

目黒区議会議長 西村ちほ

都知事あて

